

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第8期第4回相模原市中央区区民会議（グループB）			
事務局 (担当課)	中央区役所区政策課 電話042-769-9802（直通）			
開催日時	令和7年8月26日（火） 10時00分～11時15分			
開催場所	相模原市民会館 2階 第2中会議室			
出席者	委員	8人（別紙のとおり）		
	その他	0人		
	事務局	2人（区政策課職員）		
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	<p style="text-align: center;">開 会</p> <p>1 議題 (1) 中央区基本計画の取組状況の検証について ○グループB</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組目標Ⅲ：安全・安心をみんなで創っている ⇒【防災】【交通安全、防犯、空き家】 ・取組目標Ⅳ：魅力と活力にあふれ、にぎわっている ⇒【商業、観光、農業】、【基地返還、拠点形成、道路、交通】、 【文化、スポーツ、国際化】 <p style="text-align: center;">閉 会</p>			

主な内容は次のとおり。

開 会

事務局から、運営に係る事務説明を行った。
—傍聴希望者 なし—

1 議題

中央区基本計画の取組状況の検証について
事務局よりグループワーク参考資料を配布、説明し、グループワークを行った。
主な意見等は以下のとおり。

■取組の方向Ⅲ－1 ①「地域防災力の向上」

(入谷委員)

小山地区では、災害に強いまちづくりを進めており、災害弱者も含め取り残さないように取組を進めているところ。

令和6年からは、これまでの自主防災隊の取組の振り返りを行うとともに、他自治会や地区内企業の取組調査を行っており、様々な知見等を踏まえ、小山地区としてどうあるべきなのかの検討を2～3年間のスパンをかけて行っていく予定。また、災害弱者の方の個人情報の取り扱いなども課題に捉えている。

(星委員)

取り残さないという意味で、災害弱者の個人情報をどのように収集するかが課題である。他地区の取組を勉強中であり、小山地区としてどうすべきか検討中である。

(藤澤委員)

中央地区は、近隣に小中学校や公民館、市役所など公共施設が多くあることもあり、災害への危機感が薄いように見受けられる。ただ、ご近所同士では顔の見える関係として、互いの状況を知っており情報交換もしているため、有事の際の近隣での声掛けなどはできるのではと感じる。

また、自助という観点だと、備蓄などによる災害の備えはできている家庭が多い印象にある。

(鈴木委員)

中央地区では、高齢者の方から毎年防災訓練をやってもらいたいという意見を聞く。自治会によっては、全く自主防災訓練をやっていない会もあるため、改善する必要があるかを感じる。

中央地区は、川沿いではないということもあり、災害に対し意識が薄いように思う。

(入谷委員)

小山地区は10月に防災訓練を予定しており、これまでは自主防災隊の方々を対象とした訓練がメインであり一般の方を対象としていなかったが、今年は一般の方も参加したい場合は一緒に訓練できるように準備を進めているところである。

(小林委員)

自治会の防災訓練は慢性化しており、実際の災害時に活かすことができるか疑問である。例えば、防災VRを活用した疑似体験訓練をすることで、災害を自分ごとと感じ防災意識の向上等につながられるのではないか。

■取組の方向Ⅲ－２ ①「交通事故防止対策の推進」

(小林委員)

上溝地区では、過去に横断歩道の前に「止まれ」と表示したシールを貼ったところ、抑止力もあり地域で好評であった。電柱に「自転車も止まれ」などの垂れ幕を設置するのも効果的であると思う。また、電柱に設置する際の占有料について、公共的な掲示物であれば無料であるべきだと感じる。

(入谷委員)

小山地区では月に1回青色パトロールを実施している。加えて、年に2回、8月と12月に夜間パトロールも行っている。交通安全講習会についても随時行っており、直近の会では40名の参加があった。

(小林委員)

スマホのながら運転が中々減少しない印象にある。実際に事故も生じているため、効果的な対応策が必要である。ダミーの取り締まりの機械を設置すると効果的だという話も聞く。地域での取組も重要だが、警察と一緒に取組を進める必要があると思う。

(田加井委員)

自転車乗車時のヘルメット着用率はまだ高くないように見受けられる。ながらスマホの話もそうだが、改めて自転車走行に対して、ルールの見直しなど徹底した対応を取る必要がある。

また、交通児童公園である鹿沼公園を大いに活用し啓発するのも効果的だと思う。

(入谷委員)

以前に、市で自転車用ヘルメットの補助を行っていたが、効果的な事業であったと思う。啓発するためには、今後も継続的に実施すべきだと考える。

■取組の方向Ⅲ－２ ②「犯罪の未然防止」

(中村委員)

市補助金により各商店街で防犯カメラの設置及び更新などを行っているが、商店街の会員自体が減っている中で、維持管理コストの面などの対応が難しく、いかに商店街から地域に、地域及び市民に移管していくかというのが課題である。

(小林委員)

防犯カメラは簡易的なもので1～3万円程度で購入できるものもある。そういった情報を市から地域に提供するなど、各地区で導入する機会を作るよう周知してほしい。

(鈴木委員)

固定電話に取り付ける詐欺防止対策機器は効果的である。導入することにより、防犯に意識が高い地域だと認識させることで、犯罪の抑止力にもつながる。

(藤澤委員)

特殊詐欺などが巧妙化しており、高齢者の方は判断が難しいため、自治会なども含め近くすぐに相談できる人がいる環境が必要だと思う。また、そのような環境を地域で作っていくことも重要である。

(小林委員)

犯罪の例として、家の敷地内にシールやマークを入れて、住民の属性などを調べているという話も聞く。日ごろからそういった例がないか気をつけているが、このような話を地域で共有し、

犯罪の未然防止に繋げられればと思う。

■取組の方向Ⅲ—2 ③「空き家の適正な対策」

(藤澤委員)

空き家本体だけでなく、敷地内に生えている木が道路側に出ており危険な個所もある。市から地権者に連絡もしているようだが、中々対応が進まない。解決するために、一步踏み込んだ対応が今後行政としてできるのか、それとも行政では難しいけれど、地域の人たちが自主的に安全のために何か行うことは可能なのか、ということを考える必要がある。

(小林委員)

自治会から地権者に申し入れを行い、地権者の許可を得て伐採に至った例もある。まずは、市役所や自治会に相談する形が良いのではと思う。

(桑水流委員)

空き家に関する情報を市に提供してはいるが、中々解決しないものもある。提供した情報がうまく活用されるシステムになってほしい。

閉 会

以 上

第8期第4回相模原市中央区区民会議（グループB） 委員出欠席名簿

No.	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	入 谷 利 郎	小山地区まちづくり会議		出席
2	桑水流良光	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
3	小 林 充 明	上溝地区まちづくり会議		出席
4	鈴 木 泰 信	中央地区まちづくり会議		出席
5	田加井政勇	相模原交通安全協会		出席
6	中 村 太 郎	相模原商工会議所		出席
7	水 谷 好 男	公益社団法人相模原市観光協会		欠席
8	星 清 次	相模原市公民館連絡協議会		出席
9	藤 澤 佳 代	公募委員		出席